

University of Fukui Hospital

入院のご案内

Hospitalization



入院されるにあたり

このたびのご入院に際し心よりお見舞い申し上げます。

病気のことや検査・治療など、わからないことがありますたらご遠慮なく医師・看護師等にお尋ねください。

このご案内は、入院日までにご確認いただきたいことをまとめておりますので、患者さんをはじめ、ご家族のみなさまにも一度お読みいただきますようお願ひいたします。

患者さんの1日も早いご回復を心から願っております。

患者の皆様の権利

福井大学医学部附属病院において診療を受ける患者の皆様が、以下に述べる権利を持つことを宣言するとともに、患者の皆様に守っていただく事項を掲げます。

1. 安全で良質な治療を公平に受ける権利

どのような病気でも、個人の人種、信条、性別、社会的地位などに差別されることなく、安全で良質な治療を公平に受ける権利があります。

2. 十分な説明と情報提供を受ける権利

ご自身の病気、病状、治療や検査、予測される結果について、理解と納得ができるまで十分な説明と情報を得る権利があります。また、他の医療機関の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利があります。

3. 自らの意思で選択する権利

十分な説明を受け納得したうえで、自らの意思で治療方法を選択、あるいは拒否する権利があります。

4. プライバシー（個人情報）が守られる権利

プライバシー（個人情報）の保護を受ける権利があります。

5. 臨床研究に参加、拒否する権利

当院は教育・研究病院であるため、患者の皆様に教育あるいは臨床研究にご協力願う場合があります。自らの意思で参加・不参加・中止することができる権利があります。

<患者の皆様に守っていただく事項>

1. 自らの健康状態や病状の変化について、できる限り詳細な情報を病院職員にお伝えください。
2. 安全で良質な治療を受けるために、治療上の心配な事や要望は必ず病院職員に伝えていただくとともに、理解と納得の上で自らの治療に参加する意識をお持ちください。
3. 病院内の規則を遵守し、他の患者や病院職員も含め、お互いに思いやりのある態度で接してください。
4. 医療費の支払い請求を受けたときは、速やかにお支払ください。
5. 教育病院として多くの優秀な医療人の育成にご協力ください。
6. 医師の指示や病院内の規則を守っていただけないときには、退院していただく場合があります。
7. 食札や入院診療計画書など個人情報の記載があるものは取り扱いに注意してください。

当院の機能と役割

1. 当院は特定機能病院です

当院は、地域において高度な医療を提供する役割を担っており、診療所や病院などからの紹介で、当院での入院治療が必要な方を受け入れる事が求められています。

高度な医療を必要としている方を受け入れるために、当院での急性期治療が終わり病状が安定した患者さんについては、自宅療養もしくは紹介元の病院等へ転院していただきます。

2. 地域の医療機関と連携を図っています

当院は、地域の病院や診療所の先生方と密接な医療連携を結び、かかりつけ医の先生方との間に切れ目のない医療の提供を実践しております。退院や転院については、医師または看護師にご相談ください。退院支援を専門とする地域医療連携部の職員（相談員）が対応します。

3. 医学生等の医療研修を実施しています

優れた医師を育てるためには、医学生の時から診療現場での研修が重要との考え方に基づき、平成19年度から全国共通の実技試験に合格した医学生を医師の指導・監督の下で診療に参加させる研修制度が導入され、当院でも実施しています。

この診療研修は、患者さん並びにご家族皆様のご了解を得て実施するものであり、医学生の診療参加が不都合な場合は、あらかじめ各診療科の窓口へお申し出ください。

なお、そのことによって患者さんに不利益が生じることはありません。

特定看護師の特定行為の実施について

当院は、厚生労働省「特定行為に係る看護師の研修制度」を修了した特定看護師が、医師の指示を受け、以下の特定の医療行為を実施しています。

- ◆人工呼吸器に関する行為
- ◆動脈採血
- ◆手術中に関する行為
- ◆創傷及び褥瘡に関する行為
- ◆中心静脈カテーテルに関する行為

医師と連携し安全には十分配慮して行いますが、患者さんはいつでも拒否を申し出ることができ、そのことによって患者さんに不利益が生じることはありません。

「特定看護師の特定行為の実施」についてご相談がある場合には、下記患者相談窓口をご利用ください。

患者相談窓口

■相談時間 8:30~17:00（土・日、祝日、年末年始を除く）

■場 所 1階外来ホール「患者相談窓口」

————— 皆様方のご理解とご協力を願いいたします。 ————

目 次

1. 入院までの流れ	P1
2. 入院に必要なもの	P2
3. 入院までのお願い	P3
4. 入院中に守っていただきたいこと	P3
5. 入院中の生活	P5
6. 入院がもたらすリスクについて	P7
7. 災害時の対応について	P12
8. 院内一斉放送について	P12
9. 費用について	P13
10. 入院費の支払いについて	P16
11. 各種診断書・証明書等	P17
12. 院内地図(1階)	P18
13. 病棟案内	P19
14. 相談窓口	P20
15. 患者さんの個人情報の保護	P20

1

入院までの流れ

外来診療
入院予約

医師が入院期間や手術・治療内容について説明を行います。



↓
入院前の説明

入院支援部

入院手続き等の事前説明や問診を行います。

↓
入院待ちの方
入院日時の連絡

入院前の説明の際に入院日時が未定の場合は、入院日時が決まり次第、病院より連絡いたします。

↓
入院日当日
入院受付

(平日) 8:30~17:00 : 入院支援部
(土・日・祝日・時間外) : 救急部受付

入院の手続き等を行います。
リストバンドの装着および入院に際しての説明を行います。
入院病棟をご案内いたします。

↓
入院病棟へ移動



所持品は、お名前をご記入のうえ、お持ちください。

- ① 診察券
- ② マイナンバーカード・資格確認書・限度額適用認定証(13ページ参照)
- ③ 公費受給者証等・介護保険被保険者証(お持ちの方のみ)
- ④ 治療等に関する同意書(お持ちの方のみ)
- ⑤ 入院予約票
- ⑥ 入院誓約書
- ⑦ 選定療養費についての同意書及び入院期間確認書
- ⑧ 入院セット(CSセット)利用申込書兼同意書
- ⑨ 学生実習について入院患者さんへのお願い(包括同意書)
- ⑩ 現在服用しているお薬(飲み薬・点眼薬・貼り薬・注射などすべて)
- ⑪ お薬手帳または薬剤情報提供書
- ⑫ 病棟内での履物(安定感のある履き慣れたかかとのある履物)
- ⑬ 入れ歯、補聴器、眼鏡、コンタクト及びその保管容器
- ⑭ 普段使用している歩行補助具(杖・押し車・車椅子)
- ⑮ 時計(時間が分かるもの)
- ⑯ 洗面用具(歯ブラシ・くし・髭剃り等)
- ⑰ 食事用具(スプーン・お茶用コップ(割れにくい物)等)
- ⑱ その他の日用品(洗面器・下着類・ウェットティッシュ等)
- ⑲ テレビ用のイヤホン(院内ファミリーマートで購入できます)
- ⑳ 入院のご案内(本冊子)

※入院セット(CSセット)をご利用されない方は、上記以外に、ねまき(前開きで袖口がしまっていないもの)・タオル類・入浴用具及びティッシュペーパー類等が必要になります。



3

入院までのお願い

- 手足の爪は短く切り、ネイルは除去しておいてください。
指に装着する酸素飽和度モニターでの酸素飽和度測定ができない、爪の色調の変化がわからないなど、医療行為の妨げになります。
- 指輪、ピアス類は入院までに外しておいてください。
- 治療にあたり中止するお薬がある場合は忘れないようにしてください。
- 入院当日の絶飲食がある場合は、忘れないようにしてください。
- 禁煙してください。
喫煙は、治療の阻害要因となり、回復を遅らせたり、手術中・手術後に危険な状態が起こる可能性があります。
- アルコールを控えてください。
毎日飲酒している人は、手術後等に、せん妄を発症しやすくなります。
飲酒量を急激に減らすと、発熱、血圧の異常、不整脈等が出ることがあるため、徐々に減らしておく必要があります。また、入院中のお酒の持ち込みや飲酒も固くお断りします。

4

入院中に守っていただきたいこと

(1) 入院中の他医療機関への受診について

入院中(外泊・外出時含む)は、他医療機関を本人が受診したり、家族が代わりに薬の処方を受ける事は、認められておりません。他医療機関を受診予定の場合は、必ず主治医にお伝えください。

(2) 駐車場の利用について

- 入院患者さんの専用駐車場(常駐)はありません。公共交通機関等でお越しください。
- やむをえない事情で外来駐車場をご利用される場合は、入院支援にお申し出ください。
駐車場内での事故・盗難等については、当院は一切責任を負いかねます。

(3) 貴重品の持ち込みについて

紛失・盗難等の恐れがあるので、貴重品及び必要以上の現金は持ち込まないでください。床頭台に鍵付き引き出しがありますのでご利用ください。

院内の紛失・盗難等については、当院は一切責任を負いかねます。

(4) 携帯電話の使用について

携帯電話は、マナーモードに設定し、他の患者さんの迷惑にならないようご使用ください。なお、携帯電話は診療・看護の妨げにならないよう個人管理をお願いします。万一、院内で破損した場合、当院は一切責任を負いかねます。

(5) 電化製品の持ち込みについて

携帯電話の電源コード以外の電化製品の持ち込みはご遠慮ください。
院内の紛失・盗難等については、当院は一切責任を負いかねます。



(6) 消灯時間について

消灯時間は**21:00**となっております。消灯後は他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。

患者さんの安全確保と療養環境の維持のため、夜間 21:00～6:00まで 病棟外には出られません。

(7) 郵便・宅配便等について

入院中に、郵便・宅配便等を病棟(ご本人)宛に送付することは、ご遠慮ください。

(8) 付添いについて

- 患者さんの病状などにより、医師が必要と認めた場合はご家族の付添いが許可されます。
- 付添いの方の食事は、A棟1階又は外来棟1階のファミリーマートをご利用ください。
- 付添いの方の寝具は、貸寝具をご利用できますので、A棟1階患者サービスセンター「まどぐち」(ファミリーマート内)にてお申し込みください。

(9) 外出・外泊について

外泊については、高度医療、急性期医療を担う特定機能病院の役割から、治療上の外泊を除き原則1泊2日とさせていただきます。外出・外泊をする場合は、主治医の許可(外出・外泊許可願)が必要です。希望する場合はお早めに医師又は看護師にご相談ください。

また、外出・外泊に出られる時、病棟にお戻りの際は必ずスタッフステーションへお立ち寄りください。

(10) 面会について

- 面会時間は以下のとおりです。

平日(月～金)	15:00～19:30
土・日・祝日	13:00～19:30

※状況により変更となる場合があります。

- ・治療と安静のため、指定時間以外の面会または長時間の面会はご遠慮ください。
- ・面会される場合は、必ず病棟スタッフステーションへお立ち寄りください。
- ・感染防止のため、中学生以下の子連れでの面会はご遠慮ください。
- ・面会者に発熱や下痢・嘔吐などの症状がある場合、面会はご遠慮ください。

(11) 全敷地内禁煙

喫煙は治療の阻害要因になり、回復を遅らせる原因になることや、手術中・手術後に危険な状態が起こる可能性があることなどが報告されています。

当院では、喫煙による生活習慣病と受動喫煙による健康被害防止(健康増進法第25条)のため全敷地内を禁煙としており、病院に入りするすべての方々にご協力をお願いしています。

※当院では禁煙外来を設け、たばこをやめたい方の支援を行っております。
医師または看護師まで、お気軽に問い合わせください。



(12) 暴言・暴力・迷惑行為の禁止

飲酒、喫煙、無断外出・外泊、賭けごと、ハラスメント、暴力などで他の患者さんの迷惑となる場合、または診療行為に支障をきたす行為があった場合は退院していただく等の対応をさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

(13) 写真撮影・録音等の禁止

当院では、無許可での写真・動画撮影(カメラ・携帯電話・スマートフォン・ビデオ撮影等)・録音を禁止しています。

(14) 監視カメラ設置について

防犯上、また患者さんの安全確保や医療安全の観点から、院内各所に監視カメラを設置しています。撮影した映像は、職員以外が閲覧することはありません。なお、犯罪捜査のため、警察等から録画画像の提供の依頼があった際は、協力する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(15) 退院

退院は、治療上の理由等を除き、**午前10時(午前中)**となります。

また、曜日指定等は出来かねますのでご協力をお願ひいたします。



(16) 感染予防について

病室への入退室の際は、病室前にある備え付けの手指消毒液の使用、あるいは洗面所での手洗いにご協力を願います。面会の方にも、同様の手指消毒にご協力いただきます。

また、床には荷物を置かないようにしてください。床は不衛生であり、院内感染を広げる原因になります。入院中は必要最低限の物だけにしていただくようお願いいたします。

なお、感染予防のため、面会に制限のある病棟もございます。咳などの症状があるときは、マスクを着用してください。



5

入院中の生活

(1) 食事について

入院中の食事は病状に応じて提供しておりますので、当院以外の食事はご遠慮ください。給湯・給茶器については、病棟デイルームにありますのでご利用ください。

食事を楽しんでいただくため、朝食はご飯・粥のメニューとパンのメニューをご用意しております。また、食事は衛生上、時間内にお召し上がりください。

当院はニュークックチルというシステムを採用しており、チルド保存された料理を器のまま再加熱して配膳しています。トレー や器が熱い場合がありますので、やけど等にご注意ください。また、食事と一緒に箸を提供しておりますが、必ず返却して下さい。

食器以外の物(コップ、入れ歯、ごみ等)の返却はご遠慮ください。なお、院内での紛失・破損等については、当院は一切責任を負いかねます。

(2) テレビ・冷蔵庫について

- テレビ・冷蔵庫は各床頭台に設置しております。
- これらをご利用いただくためには、入院セット(CSセット)内のプランへの利用申し込みが必要です。
- テレビを見る際は、イヤホンを使用し、他の患者さんの迷惑にならないようご配慮ください。また、消灯後の利用は控えてください。



(3) インターネットの利用について

当院では、Wi-Fiによるインターネット接続サービスをご利用いただけます。
(別途お申し込みが必要です。) 特別室・個室(有料)をご利用の患者さんは、Wi-Fi接続に加え、有線LANでの接続も可能です。

なお、ポケットWi-Fi等のWi-Fi電波を発する機器の持ち込みはご遠慮ください。

(4) 洗濯について

各病棟に設置されているコインランドリー(有料)をご利用ください。(使用時間 7:00~20:00)

*洗剤は各自でご用意ください。

病室や洗面所での洗濯物の乾燥はご遠慮ください。

(5) 回診について

回診日時については病棟で説明します。回診時はテレビを消して、ベッドでお待ちください。

(6) シーツ交換について

週1回シーツを交換します。シーツ交換前に、できるだけベッドの上の私物を片付けてくださるようご協力をお願ひいたします。



(7) シャワー入浴について

シャワー入浴は主治医の許可が必要です。利用時間・場所について
病棟スタッフにお尋ねください。



(8) 病室・病棟の移動について

患者さんの病状により、病室・病棟を移動していただく場合がありますので、ご協力を
お願ひいたします。

入院がもたらすリスクについて

入院生活は家庭環境とは異なり、病気やけがによる体力低下が筋力や心肺機能、消化機能、知的活動などに影響を与えることがあります。特にご高齢の患者さんは環境の変化に影響されやすく、うつ状態や認知症のような症状(せん妄)が現れることがあります。また、薬の影響により予期しない状況に発展することもあります。これらを踏まえ、次の点について、ご理解とご協力をお願いします。

(1) 入院がもたらすリスクを軽減するために持参してほしいもの

- 入れ歯、補聴器、眼鏡、コンタクト及びその保管容器
- 履き慣れたくつ(スリッパ、合成樹脂製サンダルなどは転倒の原因となるため、禁止しております)
- 普段使用している歩行補助具(杖、押し車など)
- 時計(時間がわかるもの)やカレンダー(月日がわかるもの)
- 気分転換できるもの(本や趣味に必要なものなど)
- 皮膚の弱い方: 10ページの「3)皮膚トラブル」参照

(2) 入院がもたらすリスクを軽減するために知っておいてほしいこと

1) 転倒・転落

転倒・転落の起こりやすい状況とは?

《患者さんがもつ危険性》

- 病状の理解が不十分で、無理に動いてしまうとき
- 入院により認知機能が悪化したとき
- 障害や麻痺で立ち姿勢でのバランスが悪いとき
- 足腰の筋力が低下しているとき
- 遠慮してナースコールを押さなかったとき
- 起き上がり時や歩行時に、柵や手すりなどを適切に使用しなかったとき



《環境による危険性》

- 夜間の体制で職員が手薄になるとき
- 物が置いてあったり滑りやすい床
- 固定が悪いもの(オーバーテーブルやカーテンなど)につかまったとき
- スリッパ、サンダルなど転倒しやすい履物

転倒を予防するために

ベッドの使い方



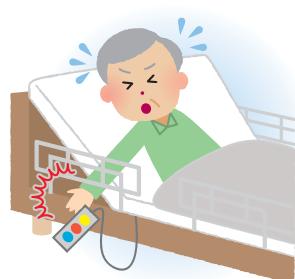
起き上がったらすぐに動かず、
ひと息ついてから動きましょう



ベッドの上に立たないでください



ベッドの横に体を挟まないよう
注意してください



ベッドのリモコンを操作する際には、体が挟まないよう注意して
ください

車椅子の使い方



動く時は足台に足を乗せましょう



深く座りましょう



足台を上げて乗り降りして
ください



動かないときはブレーキを
かけてください

はきものや、点滴のときに 気を付けること



履きなれた靴、かかとのある靴
を履きましょう



段差・障害物に注意してください



カーテンのひっかかりに注意
してください



オーバーテーブルなどの動く物
には寄りかからないでください

スリッパ、合成樹脂製サンダルの危険性

院内で起こる転倒の原因として、スリッパや合成樹脂製サンダルを履いていたことによるものが多くあります。スリッパや合成樹脂製サンダルは、履きやすくて便利ですが、院内は自宅とは異なり、清潔保持の理由から床が滑りやすく、また硬いため、滑って転んだ場合には、下記の『転倒・転落によるリスク』のような大怪我に繋がります。少々不便でも、転倒防止のため、履きなれた靴や、かかとやマジックテープのあるシューズを持参いただくようお願いします。



転倒・転落によるリスク

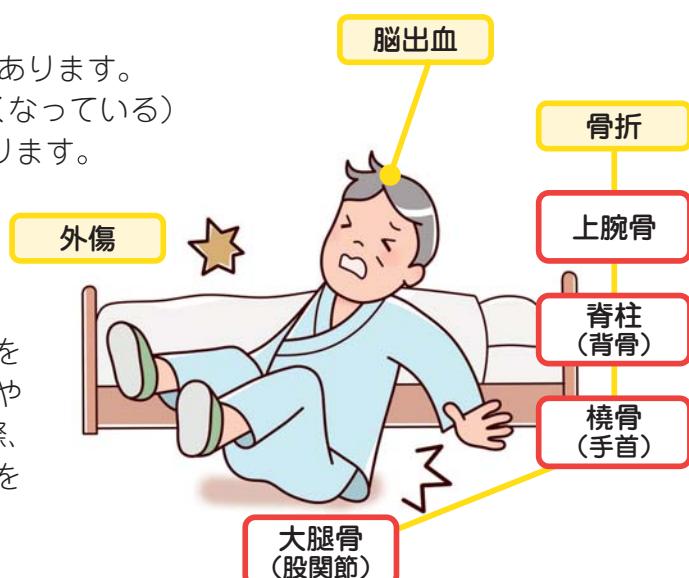
歩行時の転倒、ベッドや車いすからの転落は、骨折、外傷、脳出血などを起こす場合があります。特に、ご高齢の患者さんは、以下の身体的特徴によって、転倒・転落により受傷した場合、寝たきりや要介護状態につながる場合があります。

ご高齢の方の身体的特徴

- 骨がもろく容易に骨折する可能性があります。
- 拘(こう)縮(しゅく)がある(体が硬くなっている)
場合は、骨折の危険性はさらに高まります。

受傷してしまった場合には

転倒・転落により骨折などのケガを負った場合は、受傷状況に応じた検査や治療を保険診療にて行います。その際、入院期間が延びる可能性があることをご理解ください。



2)せん妄

「せん妄」とは？

身体の不調、入院・手術による環境の変化、新しい薬が身体に合わない、などの原因で意識が混乱することです。多くの方は治療により回復します。

「せん妄」になりやすい人は？

- 高齢の方
- 物忘れが目立ってきた方
- 脳梗塞や脳出血になったことがある方
- せん妄になったことがある方
- アルコールをたくさん飲む習慣がある方

*1つでも当てはまる方はせん妄を起こす可能性が高いです。



「せん妄」の時は、このような変化が起こります。

時間や場所の感覚が鈍くなる

- 日付がわかりにくくなる
- 病院にいることがわかりにくくなる

睡眠のリズムが崩れる

- 昼間眠って夜眠れない
- 寝る時間・起きる時間が不規則になる

話す内容のつじつまが合わない

- 過去のことを今のように言う
- 現実とは違うことを話す

幻覚が見える

- 天井や壁の模様が動いて見える
- だれかが部屋の外に立っているのが見える

落ち着きがない

- 急に騒いだり、怒りっぽくなる
- 何度もベッドから起き上がる



3)皮膚トラブル

私たちの皮膚には、外からのごみや紫外線などの侵入を防いでくれるバリア機能が生まれたときから備わっています。しかし、加齢や病気によって体調が悪くなると肌は乾燥し、皮膚トラブルを起こしやすくなります。おむつを使用している方はおむつ内の皮膚が蒸れることでバリア機能が低下し、おむつかぶれを起こしやすくなります。

皮膚トラブルを起こしやすい人は？

- ご高齢の方
- 皮膚が乾燥している方
- 何かにぶつけて内出血ができやすい方
- ベッド上で過ごす時間が長い方
- おむつ内で尿や便を排泄されている方
- 手術や化学療法・放射線治療をされている方
- 栄養状態が悪い方



*1つでも当てはまる方は皮膚トラブルを起こす可能性が高いです。



乾燥している皮膚



内出血が起きている皮膚

皮膚トラブルを予防するために

(1) 皮膚の清潔を保つ

- シャワーで身体を洗うときは、ボディソープを泡立ててから使用しましょう。
- 泡でやさしく、汚れを浮かせるように身体を洗いましょう。
- ボディソープの成分が残らないように十分に洗い流しましょう。



(2) 保湿をする

- 皮膚の乾燥を予防するために1日2回程度**保湿剤**を塗りましょう。
- シャワーや身体拭きの後は皮膚が乾燥しやすいので、10～15分以内を目安に**保湿剤**を塗るようにしましょう。

(3) 排泄物を付着させない

- 1日1回陰部を洗浄して綺麗にしましょう。
- オムツ内で排泄している場合は、**被膜剤**を陰部からお尻にかけて塗り伸ばし、排泄物が皮膚に付着しないようにしましょう。



リモイスバリア



ソフティ

※写真の製品はA棟1F のファミリーマートでも取り扱っています。

4) 肺血栓塞栓症

肺血栓塞栓症とは、肺の血管に血のかたまり(血栓)が詰まって、突然、呼吸困難や胸痛、時には心停止をきたす危険な病気です。長時間飛行機に乗った際に起きることもあり、「エコノミークラス症候群」と呼ばれています。肺血栓塞栓症は、太ももやふくらはぎの筋肉の層にある静脈(下肢深部静脈)に血栓ができ、その血栓が何らかの拍子に肺に到達して発症します。血栓ができる主な原因是足の血流が悪くなることで、入院患者さんや手術後の患者さんは血栓ができるやすくなります。



肺血栓塞栓症を予防するために

- 下肢の深部静脈の流れを促すために座ったり、横になった状態で積極的に足首を上下に動かしましょう。

治療の影響上、必要性に応じて、以下の対応も行います。

- 弹性ストッキングの着用：下肢の深部静脈の流れを促すために足先から太もものかけて、徐々に圧迫が弱まる特殊なストッキングを履いていただきます。現在、最も一般的な予防法のひとつです。
- 足や下腿への圧迫ポンプ装備：足や下腿に巻いたバッグに断続的に空気を送り込み、圧力を変化させます。
- 抗血栓剤の投与：血液を固まりにくくする薬を使用して血栓の発生を予防します。副作用として出血しやすくなることがあります。

5) 便秘

臥床時間が長くなる入院生活では、原疾患による身体状態の変化に加え、入院環境、ストレスなどにより、排便習慣が崩れやすくなります。入院前に比較して便の回数が極端に少ない場合や、下腹部の不快感、膨満感（ぼうまんかん；膨れた感じ）、腹痛、吐き気、嘔吐（おうと）などの症状がある場合は、教えてください。

治療上の制限がない限り、入院前と同様の水分摂取やお腹のマッサージ（「の」の字にマッサージする）をしましょう。



7 災害時の対応について

- 地震や火災など非常事態が発生した場合は、病院スタッフの指示に従って行動してください。
- 非常事態が発生した場合は、エレベータは絶対使用しないでください。
- 災害時の被害を最小限に、また避難経路確保のため、ロッカーや柵の上、床には荷物を置かないでください。
- 避難経路図は各病室に設置してありますので、必ずご確認ください。

8 院内一斉放送について

救命のために**昼夜を問わず(24時間体制)**院内一斉放送をする場合があります。
特に夜間の救急呼び出しコールにつきましてはご理解ください。

(1) 入院診療費は、包括医療費支払制度に従って料金計算します。

包括医療費支払制度とは、病名や手術、処置等の内容に応じて分類された「診断群分類(DPC)」に定められた1日当たりの定額医療費により計算する制度です。

(2) 自己負担割合及び限度額

次の①または②のいずれかの方法で病院にて限度額を確認させていただくと、所得区分に応じた負担金額となります。

①オンラインでの限度額情報の取得

- ・マイナンバーカードの場合：院内のカードリーダー端末にて限度額情報の提供に同意
- ・資格確認書：書面にて限度額情報の提供に同意

②患者さんの加入する保険者が発行する限度額適用認定証を提示

また過去12か月以内に3回以上、限度額に達した場合は、4回目から「多数回」該当となり、限度額が下がります。

※1月毎(歴月)での計算となります。

70歳未満

標準報酬月額 83万円以上	252,600円+(医療費-842,000円)×1% (4回目~: 140,100円)
標準報酬月額 53~79万円	167,400円+(医療費-558,000円)×1% (4回目~: 93,000円)
標準報酬月額 28~50万円	80,100円+(医療費-267,000円)×1% (4回目~: 44,400円)
標準報酬月額 26万円以下	57,600円 (4回目~: 44,400円)
低所得者	35,400円 (4回目~: 24,600円)

70歳以上

現役並みⅢ	標準報酬月額 83万円以上	252,600円+(医療費-842,000円)×1% (4回目~: 140,100円)
現役並みⅡ	標準報酬月額 53~79万円	167,400円+(医療費-558,000円)×1% (4回目~: 93,000円)
現役並みⅠ	標準報酬月額 28~50万円	80,100円+(医療費-267,000円)×1% (4回目~: 44,400円)
一般(70歳以上75歳未満) 一般Ⅱ(75歳以上) 一般Ⅰ(75歳以上)	標準報酬月額 26万円以下	57,600円 (4回目~: 44,400円)
低所得者Ⅱ		24,600円
低所得者Ⅰ		15,000円

(令和4年10月から)

(3) 食事代は、食事療養費(1食690円)の一部をお支払いいただきます。

一般所得者	1食510円
低所得者Ⅱ(直近1年間の入院日数90日以内)	1食240円
低所得者Ⅱ(直近1年間の入院日数90日超え)	1食190円
低所得者Ⅰ(老齢福祉年金を受給している場合)	1食110円

(令和7年4月から)

(4) 特別室(個室)をご利用の場合は、1日につき以下の料金が加算されます。

※病棟によっては、取り扱いのない病室がございます。

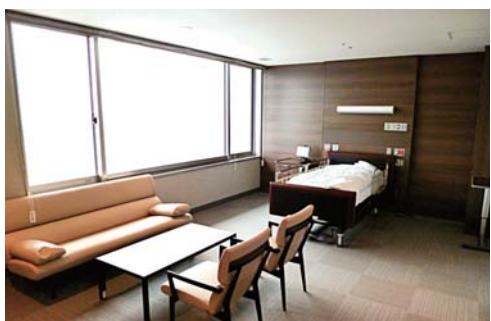
※料金は、消費税込みの金額となっております。

※空室がない場合、治療や病態を考慮して優先順位を検討させていただきます。

(例: 1泊2日の場合は2日分の料金となります。)

特別室A(2室)

【料金(1日につき)】 22,000円 【面積】 約39m²



全体



応接セット



浴室



キッチン

[設備]

- テレビ・冷蔵庫が無料でご使用できます。
- DVDをご覧になれます。
- 洗面台・トイレ・浴室がついています。
- ミニキッチン・電子レンジがあります。
- 応接セットを設置しております。
- ゆったりとした空間をご提供します。

特別室B(4室)

【料金(1日につき)】 16,500円 【面積】 約24m²



全体



応接セット



浴室



トイレ

[設備]

- テレビ・冷蔵庫が無料でご使用できます。
- DVDをご覧になれます。
- 洗面台・トイレ・浴室がついています。
- 応接セットを設置しております。
- ゆったりとした空間をご提供します。

個室D(27室)

【料金(1日につき)】 7,700円 【面積】 約17m²



全体



シャワーユニット

[設備]

- 洗面台
- トイレ
- シャワーユニット
- テレビ・冷蔵庫(有料)*

*入院セット(CSセット)内の
プランの利用申し込みが必要

個室E(72室)

【料金(1日につき)】 6,600円 【面積】 約17m²



全体



トイレ

[設備]

- 洗面台
- トイレ
- テレビ・冷蔵庫(有料)*

*入院セット(CSセット)内の
プランの利用申し込みが必要

個室F(6室)

【料金(1日につき)】 5,500円 【面積】 約17m²



全体



洗面台

[設備]

- 洗面台
- テレビ・冷蔵庫(有料)*

*入院セット(CSセット)内の
プランの利用申し込みが必要

- (5) 正常な出産の場合は健康保険が適用されないため、出産のための費用は全額自己負担となります。
- (6) 当院で出産される場合、出産育児一時金直接支払制度を利用することにより、出産費用の負担が軽減されます。

出産育児一時金直接支払制度とは

患者さんが病院と合意書を交わすことにより、保険者から出産費用が病院に直接支払われる制度です。

10

入院費の支払いについて

- (1) 入院費は、月末及び退院時に締め切り計算します。
請求書をお受け取り次第、速やかにお支払いください。
- (2) お支払いは、診察券または請求書をご用意のうえ、下記場所でお願いいたします。

平日 8:30~17:00	左記以外（土・日・祝日含む）
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 外来ホール 自動支払機 または 支払い窓口 ▶ 救急外来（A棟1階） 自動支払機 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 救急外来（A棟1階） 自動支払機

- 現金・クレジットカードがご利用いただけます。
(カードでお支払いされる場合は、暗証番号の入力が必要です)
- 郵便局・コンビニエンスストアでの払込を希望される方は、外来ホールの5番支払い手続き窓口までお申し出ください。なお、払込手数料は患者さんのご負担となります。

ご利用可能なクレジットカード

● MASTER CARD ● JCB ● AMERICAN EXPRESS ● VISA ● DC ● UFJ
● NICOS ● Diners Club ● DISCOVER …など



(3) お支払いについての相談窓口(平日 8:30~17:00)

医療サービス課収入債権担当 外来ホール5番支払い手続き窓口 0776-61-8455

各種診断書・証明書等

(1) 外来ホール4番診断書・証明書窓口(平日8:30~17:00)にてお申込みください。

作成には、2週間から20日程度のお時間をいただいておりますので、ご了承ください。

各種診断書・証明書料(各1通につき)

院内診断書		2,200円(税込)
各種証明書(入院・退院・通院・領収証明など)		2,200円(税込)
公費診断書	特定疾患	3,300円(税込)
	小児慢性特定疾患	2,750円(税込)
年金・後遺障害・手当認定等関係診断書		3,850円(税込)
死亡診断書(死体検案書)		3,300円(税込)
生命保険等診断書(入院証明、医療照会等)		5,500円(税込)

※注) 申込者が患者ご本人以外の場合は、患者様からの委任状、及び代理人の方の身分を証明するもの(運転免許証、マイナンバーカードなど)が必要となります。

詳細は4番診断書・証明書窓口でお尋ねください。



B棟



A棟



⑥ 患者サービスセンター「まどぐち」では、以下のサービスも受け付けます。

- ・付添寝具の貸し出し
- ・切手販売
- ・電報

【各施設の営業時間】

- ① レストラン 平日10:30～15:00(ラストオーダー 14:30) 土・日・祝日休業
- ② 憩いの場 9:00～21:00
- ③ ATM 平日9:00～19:00 土 9:00～17:00 日・祝日 休止
- ④ 理美容室 平日9:00～18:00 土・日・祝日 休業
- ⑤ ファミリーマート (B棟) 平日8:00～18:00 土・日・祝日 休業
- ⑥ 患者サービスセンター「まどぐち」 平日9:00～17:00 土・日・祝日 9:00～17:00
- ⑦ ファミリーマート (A棟) 平日8:00～20:00 土・日・祝日 8:00～18:00
- ⑧ 駐車場時間延長受付 平日8:00～17:00 土・日・祝日 休止
- ⑨ テレビカード精算機 8:00～18:00
- ⑩ タリーズコーヒー 平日7:30～20:00 土・日・祝日 9:00～18:00

*状況により変更となる場合があります。

コピー及びFAXサービスについては、各院内ファミリーマートの営業時間内にご利用いただけます。

A棟

北病棟 主な診療科	階	南病棟 主な診療科
血液・腫瘍内科 腎臓内科 麻酔科蘇生科 歯科口腔外科 (腫瘍センター)	7階	腎臓内科 泌尿器科 歯科口腔外科 緩和ケア 救急科 (腫瘍センター)
整形外科 リハビリテーション科 (運動器センター)	6階	心臓血管外科 循環器内科 眼科 内分泌・代謝内科 感染症・膠原病内科 (生活習慣病センター)
耳鼻咽喉科・頭頸部外科 皮膚科 形成外科 (皮膚・頭頸部センター)	5階	呼吸器内科 呼吸器外科 形成外科 救急科 (呼吸器センター)
消化器内科 消化器外科 乳腺・内分泌外科 (消化器センター)	4階	消化器外科 (消化器センター)
脳神経外科 脳神経内科 (脳・神経センター)	3階	循環器内科 心臓血管外科 (循環器センター)
集中治療部 手術部 滅菌管理部	2階	集中治療部 手術部 滅菌管理部

B棟

西病棟 主な診療科	階	東病棟 主な診療科
	6階	ハイケアユニット(HCU)
小児科 小児外科 (成育・女性医療センター)	3階	産科・婦人科 NICU GCU MFICU (総合周産期母子医療センター)
神経科精神科 (こころのセンター)	2階	

14

相談窓口

当院では相談窓口を設置し、患者さんやご家族等からの様々な相談をお受けしております。

対応時間	8時30分から17時00分まで（土・日、祝日、年末年始を除く）
場所	病院1階外来ホール 患者総合支援センター、 脳卒中・心臓病等総合支援センター
対応スタッフ	医療ソーシャルワーカー、医療メディエーター、がん相談員など

- ・退院・転院、今後の療養先について知りたい
- ・医療費や生活費について知りたい
- ・介護保険について知りたい
- ・身体障害者手帳などの申請手続きについて知りたい
- ・自宅での医療・福祉サービスについて知りたい
- ・自分のがんについて詳しく知りたい
- ・がんと言われて不安
- ・緩和ケアについて知りたい
- ・患者会の情報が知りたい
- ・アスベストによる肺がんが心配
- ・治療と職業生活との両立について知りたい
- ・医師に説明を聞いたが、納得がいかない
- ・医師や看護師に聞きたいことがあるが、うまく聞けない
- ・特定看護師の特定行為について知りたい
- ・脳卒中や心臓病の治療や予防について知りたい

その他、当院での治療に関すること、お薬に関すること、臨床検査に関すること、放射線検査(被ばく相談を含む)に関すること、リハビリテーションに関すること、栄養及び食事に関すること、医療安全に関すること、診療情報記録(カルテ)の開示など医事に関すること、患者申出療養に関することなど

15

患者さんの個人情報の保護

当院では、患者さんに安心して医療を受けていただくために、安全な医療をご提供するとともに、患者さんの個人情報の取り扱いにも、万全の体制で取り組んでいます。

1. 個人情報の利用目的について

当院では、患者さんの個人情報を下記の目的で利用させていただきます。これら以外の目的で利用させていただくる必要が生じた場合には、改めて書面等により患者さんからの同意をいただくことにしておりますのでご安心ください。

また、患者さんの呼び出しにつきましては、安全管理の面から「姓名」でお呼び出しますのでご了承ください。

なお、「姓名」でお呼び出しすることに同意できない場合は、外来ホール総合受付窓口に申し出てください。

2. 個人情報の開示・訂正・利用停止等について

当院では、患者さんの個人情報の開示・訂正・利用停止等につきましても、「個人情報の保護に関する法律」の規定にしたがって進めております。

手続きの詳細のほか、ご不明な点につきましては、患者総合支援センター患者相談窓口までお気軽にお尋ねください。

3. 当院における個人情報の利用目的

- 医療提供

- ・当院での医療サービスの提供
- ・他の病院、診療所、助産所、薬局、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等との連携
- ・他の医療機関等からの照会への回答
- ・患者さんの診療のため、外部の医師等の意見・助言を求める場合
- ・検体検査業務の委託その他の業務委託
- ・ご家族への病状説明(原則として、患者さんにご説明後、患者さんのご了承を得て行います。)
- ・入院患者さんの病棟案内
- ・病室・ベッド・食事等の名札作成
- ・その他、患者さんへの医療提供に関する利用

- 診療費請求のための事務(医療保険事務)

- ・当院での医療・労災保険、公費負担医療に関する事務及びその委託
- ・審査機関への診療報酬明細書の提出
- ・審査機関又は保険者への照会
- ・審査機関又は保険者からの照会への回答
- ・公費負担医療(医療助成(県内))に関する照会への回答
- ・その他、医療・労災保険、公費負担医療に関する診療費請求のための利用
- ・自賠責保険に関する診療費請求のための利用

- 当院の管理運営業務

- ・会計・経理
- ・医療事故等の報告
- ・患者さんへの医療サービスの向上
- ・入退院等の病棟管理
- ・その他、当院の管理運営業務に関する利用

- 企業等から委託を受けて行う健康診断等における、企業等へのその結果の通知

- 医師賠償責任保険などに係る、医師に関する専門の団体、保険会社等への相談又は届出等

- 医師・介護サービスや事務の維持・改善のための基礎資料

- 当院において行われる医学教育(学生等の臨床教育)への協力

- 医療の質の向上を目的とした症例研究(症例検討会及び学会等を含む。)

(この利用に当たりましては、可能な限り匿名化するよう努力します。)

- 外部監査機関等への情報提供

1. 上記のうち、他の医療機関等への情報提供について同意しがたいものがある場合には、その旨お申し出ください。
2. お申し出がないものについては、同意していただけたものとして取り扱わせていただきます。
3. これらのお申し出は後からいつでも撤回、変更等をすることが可能です。

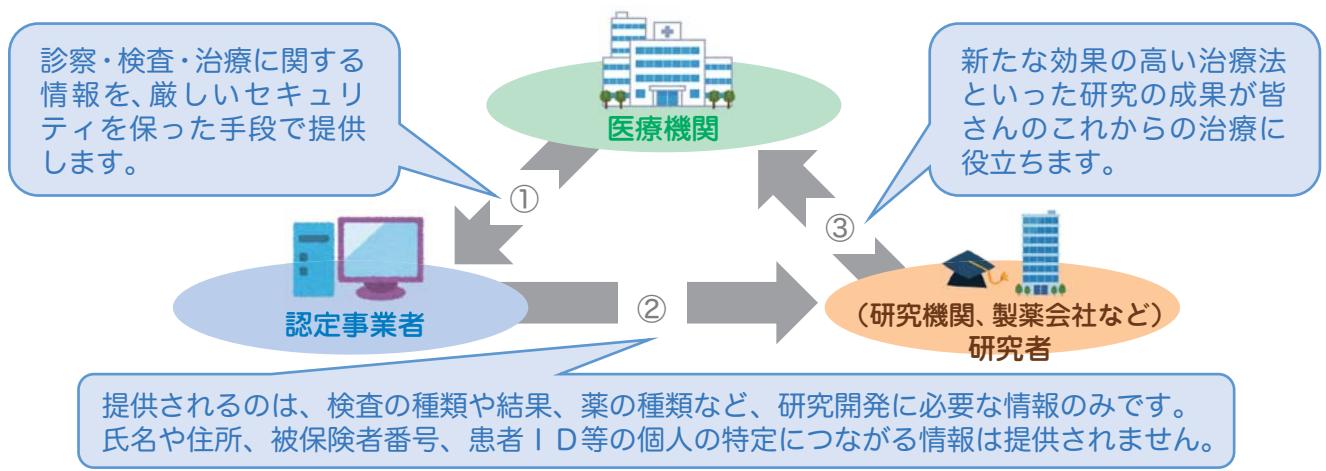
当院は、臓器提供に関する意思を尊重し、
臓器提供が可能な病院です。





明日の医療をあなたの診療記録でつくります (医療情報提供のお知らせ)

- 当院では、治療法や薬に関する研究などに役立て、皆さまがよりよい医療を将来受けられるようするため、患者さまの医療情報を国が認定した事業者に提供致します。
- この認定事業者は、患者ご本人が特定されないようにお名前やご住所といった情報を削除するなど、医療情報の加工を行い、医療分野の研究開発組織に提供します。提供を望まない方は、お申し出下さい。(提供を拒否しても皆さまに不利益は全くありません。)



安心して皆さまがこの仕組みに協力して頂けるよう、国も以下について取り組んでいきます。
信頼できる事業者の認定、認定事業者などへの万全な監督、皆さまへの制度に関する周知

医療情報の提供先

次世代医療基盤法に基づき、国から認定を受けた事業者に提供します。

*なお、当該事業者はみなさまの医療情報が次世代医療基盤法(認定事業)を超えてみだりに活用することはございません(法律で固く禁止されております)。

医療情報の提供内容、提供方法

当院での診察・検査・治療の内容や結果等に関する情報(過去の履歴を含む。)を国が認定した安全なネットワークで認定事業者に提供します。

薬の処方、検査結果、治療の記録、副作用などが記載された電子カルテ等の電子情報

医療情報の提供を望まない方へ

- 医療情報の提供を望まない方は、いつでも提供の停止を求めることができます。
16歳未満のお子さんやご自分で判断することが難しい方は代理人の方(保護者の方を含みます)、または患者さまのご遺族もこの手続きを行うことができます。
実際に認定事業者が皆さまの情報を活用するのは、本通知のお渡し後およそ30日経過後となります。
- 下記の方法で提供の停止求めることができます。
①<窓口で申請される場合> 【i 総合案内】で「認定事業者への医療情報の提供を停止したい」旨をお伝えいただき、窓口にて配布します申請書をご記入ください。
②<電話で申請される場合> 受付時間内におかけいただき、「認定事業者への医療情報の提供を停止したい」旨をお申し出ください。

(平日9時～17時) 電話番号0776-61-3111 福井大学医学部附属病院医療サービス課診療情報担当

- 本人確認のために診察券または運転免許証等の提示を求めることがございます。予めご準備ください。
また、代理人の方は窓口にて委任状を配布いたします。
- 停止の求めを申請いただいた際は申請月以降の情報について提供を停止いたします。
申請いただくより前の既に活用されている過去情報につきましては、可能な限り遅滞なく削除いたしますが、ご要望に沿えない場合がございます。予めご了承ください。

次世代医療基盤法および認定事業者に関する情報はこちらをご覧ください。
(仕組みに関する国のホームページ)

<https://www8.cao.go.jp/iryou/index.html>



交通のご案内



バス

JR福井駅前(西口ターミナル1番のりば)発
福井大学病院行 約35分



北陸自動車道

福井北I.C.から 約10分
丸岡I.C.から 約10分



電車

えちぜん鉄道(勝山永平寺線)松岡駅下車
京福バス乗り換え、福井大学病院行 約5分

特定機能病院
福井大学医学部附属病院
University of Fukui Hospital

〒910-1193 福井県吉田郡永平寺町松岡下合月23-3

TEL.0570-059-111

URL <https://www.hosp.u-fukui.ac.jp>

2025/12月改訂